



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 田中 武
- 幹事 門前 庄次郎
- 会報委員長 田中 正躬



夏の終わり 蜘蛛 康介

高山 3 R C 合同ガバナー公式訪問例会

9月18日(木) 12:30~ ホテル高山アソシアリゾート

<プログラム>

司会進行	高山RC幹事	河合 清文 様
点 鐘	高山RC会長	打保 敏典 様
ロータリーソング	奉仕の理想	
ゲストの紹介	高山RC会長	打保 敏典 様
国際ロータリー第2630地区	ガバナー	石垣 智康 様
国際ロータリー第2630地区	地区幹事	水野 正信 様
国際ロータリー第2630地区	濃飛グループ AG	兼松 政則 様
地区役員の紹介	高山RC会長	打保 敏典 様
国際ロータリー第2630地区	パストガバナー	桑月 心 様
国際ロータリー第2630地区	ガバナーノミニ	剣田 廣喜 様
国際ロータリー第2630地区	広報部門委員会委員	伊藤 松寿 様
国際ロータリー第2630地区	青少年育成小委員会委員長	永家 将嗣 様
食 事		
会長の時間	高山RC会長	打保 敏典 様
出席報告	各クラブ出席委員長	
ニコニコボックス	高山RCニコニコボックス委員長	
歓迎の挨拶	高山西RC会長	田中 武
ガバナー紹介	ガバナー補佐	兼松 政則 様
ガバナー卓話		
謝 辞	高山中央RC会長	永家 将嗣 様
点 鐘	高山RC会長	打保 敏典 様
写 真 撮 影	3RC合同	

<会長の時間>

高山RC会長

打保 敏典

本日、高山 3RC 合同のガバナー公式訪問例会を開催させていただきます。

石垣ガバナーをはじめ、水野地区幹事、兼松ガバナー補佐様にご臨席を賜り、心より感謝申し上げます。

本年度、未熟ではございますが、伝統ある高山ロータリークラブ会長を務めさせていただきます

ゲイリーRI 会長は、本年度を「ベスト・クラス」(最高の年度)とすべく「ロータリーに輝きを」もたらすよう要請され、「世界の120万人の仲間がキャンドルに火をともしれば、大きな力になる。これによってロータリーは輝く。どのような火をともしかは、ロータリアンならだれでもわかっている筈である。」と述べられました。

これを受けて、2630地区の石垣ガバナーは、「耳を傾け、ロータリーに活力を」と要請され、ロータリアン同士十分に話を聞きあう事、心に響き生涯の指針となるように耳を傾けること等々、こうした本年度のテーマを基軸に、一人一人の力をロータリーに結集させようと述べておられます。

高山クラブとしましては、高山西クラブ、高山中央クラブと同様、会員の結束を更に高め、各委員会の活動を通じて会員間意思疎通を図り、親睦を深め、楽しく内容のあるクラブ奉仕・例会に努めながら、職業奉仕・社会奉仕等に結実出来ればと考えております。

さて私は、今迄ロータリークラブの先輩方から、実に多くの事柄を学び、仕事や人生に必要な多くのことを教えて頂きました。例えば、「多くの人々から支持を得るより、一人でも二人でも本当に自分や仕事を理解し、信用してもらえたならば旨くやれる」「人や仕事の評価とは、自分や相手方の下すものではない。世間の第三者の評価こそが本物である。」「人生には一度か二度はターニングポイントがある。全てを失っても、必要となるもの(新聞発行用の紙)を必ず確保することだ」等々、こうした先輩方から学んだことは、私にとってかけがえのない無形の財産となっています。

ロータリークラブの歴代会長も各人各様であり、例会では大声で笑ったり、成程と納得したり、切ない程辛い話であったり、私自身、歴代会長の一年間を見聞きすることにより、その人生を共に過ごしたような感概を抱いたものです。

この一年間、今迄と同様、楽しいながらも緊張感の溢れた高山クラブを運営していけたらと念じております。皆様のご協力を宜しくお願い致します。



ロータリーに輝きを

例会報告

<出席報告>

高山RC 会員数 39名 欠席者 12名 出席率 68.42 %
高山西RC 会員数 47名 欠席者 11名 出席率 76.59 %
高山中央RC 会員数 53名 欠席者 13名 出席率 75.00 %

<ニコニコBOX> 高山RCニコニコボックス委員

国際ロータリー第2630地区 ガバナー 石垣 智康 様
国際ロータリー第2630地区 幹事 水野 正信 様

公式訪問に伺いました。よろしくお願ひ致します。

国際ロータリー第2630地区 濃飛グループガバナー補佐 兼松 政則 様
高山3クラブの皆様、本日はよろしくお願ひします。

高山RC会長 打保 敏典 様

高山西RC会長 田中 武 様

高山中央RC会長 永家 将嗣 様

石垣ガバナー、水野地区幹事、兼松ガバナー補佐のご来訪を歓迎いたします。ご指導を宜しくお願ひ申し上げます。

<歓迎の挨拶>

高山西RC会長

田中 武

国際ロータリー第2630地区ガバナー 石垣智康様、地区幹事 水野正信様、ようこそおいで下さいました。心より歓迎申し上げます。そして濃飛グループガバナー補佐 兼松正則様、地区役員の皆様、ご臨席有難う御座います。

石垣ガバナーの地元、40℃越えの記録の有る多治見と、毎年のように-20℃を下回る日のある、荘川六廐地区を擁するここ飛騨高山では、気候風土すらも異なります。かように南北に長い岐阜県、そして第2630地区を縦断し、それぞれの特徴・文化や思いに『耳を傾け』、それぞれを活かしながら『ロータリーに活力を』与えるべく日々邁進されるお姿に、心からの敬意を表したいと思ひます。新年度が始まり二ヶ月余り、ガバナーが思い描かれたホップ、ステップ、ジャンプで言う所の、現在はホップ課題を見つける、時期であると認識しております。次のステップ、ジャンプへと引き継げるよう、本日のお話を心して拝聴したいと思ひます。石垣ガバナーにはこれからも引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、また併せて本日ご出席の皆様方の益々のご健勝と、第2630地区の発展を祈念しまして、意は尽くしませんが歓迎の挨拶とさせていただきます。



<ガバナー紹介>

濃飛分区分ガバナー補佐

兼松 政則 様

皆様こんにちは。ガバナー補佐の兼松と申します。訪問の折には色々お世話になっております。本日は

高山3クラブ合同のガバナー公式訪問例会でございます。ここでガバナーをご紹介します。

石垣智康ガバナー。多治見西ロータリークラブのご所属で職業は弁護士をされております。今年の活動計画に基づきまして「耳を傾け、ロータリーに活力を」というテーマで後ほど熱く語って頂きますので皆様ご静聴の程よろしくお願ひいたします。簡単ではございますが、それでは石垣ガバナー、よろしくお願ひいたします。

<ガバナー卓話> ガバナー 石垣 智康 様



ご紹介いただきました石垣です。皆様こんにちは。高い所で大変失礼しますが、こうやって皆さんの顔を見ますと、高山の方々は人品優れた非常に人格者にみえます。良い所に来たなあと、先程2クラブの会長幹さんと懇談会やりましたが、新鮮な気持ちで新しい課題に取り組んでいらっしゃる姿を拝見しました。先程会長の時間で高山クラブ会長の打保さんが要旨・ブリーフをおっしゃったんで、私はそれをやや具体的にお話しするのが役目であろうと思ひます。ガバナーに就任して2ヶ月半経ちました。初めは若葉マークでやっていたんですが、この所だんだん太平洋の大海原に船出いたしました。きっと荒波にもまれるやと思ひましたけど、大変皆さん優しく穏やかに迎え入れて下さいます順調に船足を進めております。この一年の遠洋航海になりますが何分6月30日までよろしくお願ひいたします。私につきましては『ロータリーの友』7月号に入会の際紹介してくれた先輩が寄稿してくれています。私の名前は石垣、角張った名前ですが、石垣の角も年を取ってとれて参りました。職業は真剣にロータリーは真面目に、しかし真面目すぎないようにやりたいと思ひています。

今年度RI会長のゲイリーさんは大変演出の上手い方で、今年の1月サンディエゴでのガバナー義務教育の際の基調講演終

例会報告

了後、バックスクリーンに花火を打ち上げる模様が轟音と共に映し出され、終了とともに「LIGHT UP ROTARY」と大きな声で叫ばれました。その意味する所につきましては、ロータリークラブの一人ひとりが輝く。そのために一人一人が何をすべきか考えて欲しい。そうすればクラブも地区も輝く、というテーマです。私この方針を聞きまして帰りの飛行機の中で自分のスローガンをどうするか考えました。「ホップ、ステップ、ジャンプ」という軽快なリズムにならって、ホップで課題を見つけ、ステップで解決策を見つけ、ジャンプで活力へつなげる、と『耳を傾け、ロータリーに活力を』というスローガンにしよう、と思いました。何をすればいいか、どう改善していけばいいか、という事を話し合っ、ロータリーに活力を増やそうと。これがゲイリー会長のテーマと結び付ける道筋であります。今ロータリーに不足しておりますのは、なんと言っても活力です。そのためには一人ひとりが輝く事が必要だと思ひます。

私のR Iにおけるガバナーの立場をご説明申し上げますと、R Iは19人の理事で構成され、理事会が決めた事を執行する立場にある各会長が決めたテーマを推進し、広げるのがガバナーの役割で、その役割を担い各クラブにお邪魔しております。R I会長のゲイリーさん強調事項についてはP E T S等で既にお伝えしておりますが、一つはポリオの根絶を目指したい。二つ目に特に先進国において会員減少傾向のみられる、これを増強に転じて欲しい、という会員増強の問題。三番目にロータリーファミリーという事を強調されました。ロータリーに直接的間接的に関係する方々、青少年交換学生やインターアクター、ローターアクター等の参加を広く求め、ロータリーファミリーを拡大していきたいという事。そして新しく提案された事として、「ロータリーデー」の計画と実行でした。日本34地区のガバナーは「ロータリーデー」についてははなかなか面白いのではないかと、各クラブにお伝えして協力願えないか、という意見が多かったです。ネーミングは非常に大事で「ロータリーデー」という名称をつけて広報していくという事は良い事だと思います。既に地区内でもいくつかのクラブが集まって計画、という所が多いようです。新規プロジェクトですが、単年度で終わることなくぜひ今後も続けて頂きたい。継続性があってこそロータリーの認知度に生きてくるのではと思ひます。

R Iの目標、公共イメージの向上、クラブに対する支援、人道奉仕の問題、これがR Iの目指す三本の柱です。この中の公共イメージ向上については、ロータリーではいい事をしていけれどなかなか知られていない。従来はいい事をしていれば自然に広がるという、いわば隠匿説が多かったんですが、この所R IではPR説、という商業的になります、PR説へ軸足を置いています。良い事をして広報すればロータリーが広がる、ロータリーが広がれば世の中が明るくなる、と。やはり広報は重要と思ひます。広報の目的について各クラブで考えていただく必要があると思ひます。

R I会長が特に強調しますワールドテーマとして、あとほんの少しまで来たポリオの根絶を挙げられています。ポリオ根絶のため最後の努力を、というのがR I会長の大きな要請です。ポリオは日本ではあまり知られていませんが、数十年以上前、私の少年時代にも流行した病気です。一旦ハンデを背負ってし

まうと後遺症として一生残る、しかし専門医に聞いてみますと免疫さえつけばかからない、再発しない病気であるという、いわば撲滅に取り組むには大変良いテーマとも言えます。数年先に撲滅宣言出来るのではないかと、という状況となったのですが、この半年の間にパキスタンで80数例の症例が出ています。他にはアフガニスタン、ナイジェリア等は一ケタ、他の国にも飛び火しているようですが、感染者が移動したのでは、といわれています。もう少しの状況まで来てパキスタンで感染が拡大してしまったのは、パキスタンの紛争地域、反政府組織の勢力が大きい難民キャンプに、ウサーマ・ビン・ラーディン捜索のためCIAがかつてポリオ治療官にまぎれて入った事があったため、なかなか治療官の受入が進まない、という理由だそうなんです。しかし、あと少しという所まで来ているのです。ポリオは日本で撲滅されておりあまり話題にならないのは幸せな事でもあります、我々もグローバルな視点で物事を考える事が必要だと思ひます。ポリオについてゲイリーさんが力を込めておっしゃっていた事について、私の脳裏に焼き付いている言葉がありますのでご紹介いたします。「ロータリーは決めたことは最後まで貫く。ポリオを撲滅するまで他のプロジェクトには手を出さない。人間の力で一つの病気をなくすまでやる。それでこそ、ロータリーは世界に誇れる奉仕団体だと言え」と。もしポリオ撲滅を達成できれば、医学史上に残る快挙です。それについて我々も是非協力したいと思ひます。

次の増強の目標。私が活力と申し上げたのは、最終的には増強に結び付けてロータリーの活力へと導きたい、という事です。これは地区の第一の目標としたいと思ひます。なぜ増強が必要かということは改めて言うまでもないと思ひます。私は34年前、ロータリーの事は何も分からず誘われるまま入会させてもらいました。いわばノンポリで入会したわけですが、こういうノンポリの人にロータリーの考え方を理解してもらう努力が重要だと思ひます。一度ロータリーの知識を身につければ、なかなかロータリーからは離れられない、つまり退会を防ぐことに結び付くと思ひます。ガバナー年度になりまして、日本の増強アドバイザーに増強目標を問われた際、根拠がある訳ではありませんが、1クラブ1名の純増を達成したいと答えています。昨年度は全国2300弱クラブで会員数は3000ちょっとの増。それほど増強というのは難しいことです。我が地区は昨年の6月から今年度の6月で比較するとマイナス6と減少幅が小さくなっています。この人数を地区のボトムとしたいと、今年度は増強に転じたいと考えておりますので、各クラブ全体でご支援いただきたくお願いいたします。新会員の獲得と同時に、やむを得ないかたは別として退会防止を務めて頂きたいと思ひます。クラブの魅力を強くし、基盤を充実させれば退会防止につながります。地区を回っていると何周年記念が済んだから退会、という話を聞きます。しかし、社会奉仕団体と考えれば、自分は奉仕を充分したから退会という考えになるかもしれませんが、ロータリーは慈善だけではなく、例会に集い会員同士の交流を図り自らを磨き合う、友情を重んじる団体ですので、卒業ということはありえないはずなんです。退会原因はこれまでの調査で大きく4つに分けられているようだが、その理由は過去のものだという気がします。会員の皆さんはみな平等で業務命令の様の

ロータリーに輝きを

例会報告

事はないと思います。しかし地区内回ってみて聞かれるのは「親睦親睦と言われる」と。しかし親睦というのは、ゴルフや旅行・飲み会といったものだけではありません。友愛・寛容というのが中心となり広がって行くもので、高山3クラブではそのような事はないようで安心しております。ロータリーの真の良さに触れることなく退会につながるということだけは避けて頂きたいと思います。日本の増強リーダーの辰野さんは、ロータリーには三つの良い事がある、といつもおっしゃいます。一つはロータリーには人生を彩る出逢いの機会がある。私も地区を回れば何人かの知り合いに出逢い、さらには新しい友だちが増える事になります。ロータリーに入って良かったと、交流の機会が増え真の友達が出来ると言う事が第一点です。第二に、優れた人生の指針を持っている。『超我の奉仕』『最もよく奉仕する者最も多く報いられる』『四つのテスト』といったものです。そして、人道奉仕の一端を担うことが出来る。ポリオばかりでなく昨今ロータリーは人道奉仕に軸足を置いております。この3つの点が他の団体にはないことです。我々はこの点を認識した上で、これから新会員獲得に努めて欲しいと思います。当地区の本年度の戦略は増強ですが、増強は単なる数増やしではありません。本当のロータリアンになれる方に入会してもらうことこそが目的で、入って何かがあるとすぐドッと退会してしまうのは、入会の際に問題があるのです。真のロータリアンになれる方を入れて頂きたいと思います。

しかし、数は力という側面もあります。R I 理事19人の内日本人は2人で、このままだと1人に減少してしまいます。これまで2人3脚で日本のロータリーの価値観をR I 理事会で主張して来ましたが、1人になる事で日本の力が弱くなってしまう、との事です。確かに数千人数万人の会員では日本の主張はなかなか通りません。日本の目標とする10万人に手が届く所で本当のロータリーが始まるのではないかと、そういう意味で数というのは非常に大事であります。

ここで地区の目標を再度確認しておきます。R I 会長の強調事項には出来る限り応えて頂きたいと思います。また当地区は増強を戦略としていますので、新会員の入会を図り退会防止に努めて頂きたい、という事を主眼に置いております。そしてロータリーの良さを知ってもらう行事を企画して頂く、これは具体的には「ロータリーデー」を開催し定着させていただきたい。もう一つ欲深い事を申し上げますと、新たな社会奉仕プロジェクトに挑戦して欲しい。優れた企画にはガバナー賞の対象をしたいと思います。

『ロータリーの友』についてご紹介申し上げます。『友』でポリオ撲滅キャンペーンを行っています。縦組裏表紙でビル・ゲイツ等の「あと少し」のポーズの写真。横組裏はポールハリスの写真と共に語録があり、この語録が重要です。皆さん是非ポールハリスの眼差しと語録をかみしめて頂き、それに伴って『ロータリーの友』の中身についてもご覧いただきたい、そういう思いでこのふたつのキャンペーンをご紹介しました。

丁度時間となりましたのでこれで終了とさせていただきます。高山3クラブの益々のご発展とご活躍をお祈りすると共に、私へのご援助もいただきたいと欲深いお願いを申し上げます。ご静聴ありがとうございました。

< 謝辞 >

高山中央RC会長
永家 将嗣

皆さんこんにちは、只今ご紹介を頂きました今年度高山中央ロータリークラブ会長の永家でございます どうぞよろしくお願ひ致します。

本日は 2630 地区ガバナー石垣智康 様におかれましては遠路はるばるこの高山までお越し頂き、今年度の地区活動方針のテーマについてお話しいただきまして誠にありがとうございました。

2630 地区活動方針のテーマである「耳を傾け、ロータリーに活力を」は繊細な石垣ガバナーらしいテーマだと思います。私は地区のAG・CC会議や懇親会などの場で石垣ガバナーと直接お話をさせて頂く機会がありますが、私たちの意見をメモを取られるなどいつも真剣に聞いて頂き、まさに耳を傾けて頂いていると感じております。

今回の卓話の中で活力を得る為には増強を第一優先に取り組むべきであるというご指摘がありました。この2630地区の昨年度の実績は前年度に比べ6名だそうです。ここ数年5月までは順調に会員数は増えますが、6月に入ると110数名退会されるという現実があります。これを食い止めるには新会員の入会は勿論ですが、現会員の退会も防止しなければなりません。この高山3クラブは今年度 未来の夢計画地区補助金を申請し何れも採択された現状があり、ロータリー活動にはとても前向きなクラブばかりです。

今後も高山3クラブが石垣ガバナーの期待にお応えできように精一杯頑張ってまいりますので今後ともご指導の程 よろしくお願ひ致します。本日はありがとうございました。

